

競技実施要項（個人競技）

1. 競技運営

- (1) 陸上競技、水泳は同一競技内での1種目に加えてリレー1種目に出場できる。
また、フライングディスクは、アキュラシーのディスリート5またはディスリート7のいずれか1種目とディスタンスの計2種目に出場すること。
- (2) 競技は、原則として男女別を実施する。ただし、陸上競技の4×100mリレー水泳の4×50mフリーリレーおよび4×50mメドレーリレー、フライングディスクのアキュラシー種目、ボッチャを除く。
- (3) 1組の競技者数は8名以内とし、予選を行わず1回の決勝競技とする。ただし、卓球は5名以内のブロック、ボッチャは3または4チームのプールに分かれて行うこととし、競技方法は別に定める。
- (4) 出場選手が少ない競技・種目は、異なる障害区分の選手又は他の年齢区分の選手が同時に競技を行うことがある。この場合、順位の決定および表彰は障害区分および年齢区分別に行う。なお、ボッチャは障害区分によらずプールを形成し、各プールにて順位決定および表彰を行う。
- (5) 招集

競 技 名	招 集 時 刻
陸 上 競 技	競技開始40分～30分前
水 泳	" 30分～15分前
アーチェリー	" 10分前
卓 球	" 10分前
フライングディスク	" 20分～10分前
ボウリング	" 10分前
ボッチャ	" 10分前

※招集に遅れた者は原則として出場を認めない。

- (6) 実施態度は、主催者が競技運営主管団体と協議の上、決定する。
- (7) 競技上の抗議については、競技規則に定めるところによる。選手の出場資格、組合せおよび障害区分の適用については、抗議することはできない。

2. 番号布（ゼッケン）

個人競技に出場する選手は、競技用の服装に必ず番号布を付けるものとする。
ただし、水泳に出場する選手は、ゼッケンカードをもって番号布に代える。

番号布の布地の色

ア 肢体不自由者	白	エ 知的障害者	桃
イ 視覚障害者	緑	オ 内部障害者	水色
ウ 聴覚障害者	黄	カ 精神障害者	薄茶

3. その他

この要項に定めるもののほか、競技運営上必要な事項は、競技ごとに競技運営主管団体と協議の上、競技別実施要領に定める。